第2740地区 創立／1990年9月29日 認証／1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：西村 浩輝／副会長：山瀧 正久／幹事：野村 和義

2013～2014年度クラブスローガン

『淡々とロータリーを楽しむ』
ありがとうの心で

2013～2014年度RIテーマ
ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を

〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

本日の出席率８３．７%: 会員数４３名・出席２９名・欠席１２名・出席規定免除会員（２） ２名・ビジター１名
前々回の修正出席率１００%: 出席３３名・メークアップ７名・出席規定免除会員（２） ２名

会長挨拶／西村 浩輝君



皆さんこんにちは。春の陽気になってきたこの頃ですが、肌寒い日もあり、ジグザグ気温で腸が変調しやすいようです。体調に気を付けて下さい。

韓国珍島沖の旅客船の大事故のニュースが発生から一週間を過ぎ、日本でもどんどん報道されております。原因は人災事故であると思われます。修学旅行の高校生の若い人の命が奪われてしまった事は本当に残念です。冥福を祈ります。

船というと、釜山の夜のクルージング、大島造船所へ職場訪問例会と私達の廻りでも関係しております。私の仕事、保険でも船に関する物があります。ヨット・モーターボート保険とか長崎県では多い釣り人の瀬渡しの遊漁船業保険があります。瀬に上って釣り中に高波にあり流されて亡くなった事故も、航行中船より転落した事故、波でバウンドし、受傷した等、色々危険があります。事故処理して参りました。今回の旅客船事故に関して思うことは、このような危機的状況を判断し、回避する手立てを常に思っていなければと思われます。私の保険に入れば事故は起こらないという事、その為にどのようにしていけば良いのか考えたことがあります。お守り、祈り、念じる、そして今感じることは、淡々と人生を楽しむありがとうの心でということで、事故はないと思っております。ありがとうございました。

本日のビジター紹介

佐世保ロータリークラブ　　河原　忠徳様

Report 幹事報告／野村 和義君

1．例会変更

伊万里西ロータリークラブ
5月1日（水） 休会 定款第6条第1節により

佐世保南ロータリークラブ
5月2日（金） 休会 定款第6条第1節により

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ
5月13日（火） 5月20日（火） 5月27日（火）
12：30～ ハウステンボス「トロティネ」
例会場使用不可日のため

2．来　　信

・ガバナー事務所
第2520地区山田RCよりの「やまだの作文第42集」

・ガバナーエレクト事務所
地区委員推薦のお礼

・宮原明夫第６グループガバナー補佐
公式訪問、クラブ協議会の日程について

3．伝達・通知

《５月の例会プログラムのお知らせ》
5／ 8　新入会員卓話 芥川圭一郎君・田中啓輔君
5／29　新入会員卓話 嘉村大輔君

committee 委員会報告

岡光正 職業奉仕副委員長
5月22日（木）大島造船所への職場訪問例会の参加をお願い致します。12時よりオリーブベイホテルにて例会です。その後大島造船所の職場訪問します。宜しくお願い致します。

(^_^) ニコニコボックス

西村浩輝会長・山瀧正久副会長・野村和義幹事
お忙しい中、淡々と例会にご出席頂きありがとうございます。また、本日は佐世保ロータリークラブ河原忠徳君のご来訪、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。さて、皆様方の中に、『すきやばし次郎』に行ったことのある方はいらっしゃるのでしょうか？その前に銀座でお寿司を食べたことのあるかたはいらっしゃるのでしょうか？夢みたいな話は後にして、本日は地区出向者の卓話です。来年も出向していた

週報製作：会報・出席委員会／池永 隆司、長富 寿人、牟田 憲市、鶴田 明敏、古川 直記、糸瀬 新

だくようになりました井上パスト会長、今年だけの前田眞澄君、限られた時間ではありますが、どうか夢のある話をお願いします。

牛島義亮君

今、「アナと雪の女王」というディズニー映画が大ヒットしています。4月20日の日曜日は2200名のお客様に御来場頂きました。映画広告をされている山瀧さん、平岩さん、八重野さん、宣伝効果バッチリでした。

前田眞澄君

昨日、4月23日、二番目の妻との結婚記念日でした。タイムリーにお花が届きました。しかも会社の方へ。大変ありがたくもあり、恥ずかしくもあり。本日、地区出向者卓話です。つたない話となると思いますが、最後までよろしくお願いします。

香月章彦君

先日、結婚記念日のお花を頂きました。ありがとうございます。おかげさまで丸18年経過しましたが、概ね平和な日々を過ごさせてもらってます。

本日の合計	6,000 円
本年度の累計	789,000 円

本日の卓話

《 会 員 卓 話 》

井上亮 地区クラブ奉仕統括委員会委員



4年前に、地区に出向ということで、会員増強委員会に3年間出向しました。今年はクラブ奉仕統括委員会に出向しています。来年も含め5年間出向することになります。

クラブ奉仕統括委員会は、クラブ内でいうと、クラブ奉仕委員会の役ではないかと思います。会員増強委員会とクラブ奉仕統括委員会は常に合同で委員会があり、会員増強の補佐をしております。現在、会員増強はどこのクラブも非常に苦労しています。我がクラブは、今年は会員増強特別委員会をつくり、田雑委員長をはじめ、皆様が一生懸命やられており、新入会員が5名入会され、あと1名入会される予定と素晴らしい数字です。

クラブ奉仕統括委員会はもう一つ、退会防止を何とかしなければいけないという事で協議しております。ロータリークラブの例会を充実させないと退会者が出るのではないか、委員会を活発に行うクラブは退会者が少ないということも言われております。

四元君が会長の時の数字しかわかりませんが、第2740地区が2161名からスタートし、一年間で184名新入会員が入り（女性10名）、退会者が176名（女性5名）、2012－2013年度は純増8名の2169名でした。第6グループが223名でスタートし新入会員14名入って、退会者が20名で、残念ながら退会者が多かったという結果でした。退会される方には色々理由があるのですが、病気・会社の都合・転勤などありますが、一番多いのは3年未満の会員の退会です。新入会員がロータリーに馴染めず、ロータリーを理解しないまま退会するのが非常に多い。お願いしたいのが、各クラブで新入会員の研修をしっかりやってもらう＋ロータリーに何を求め、どういうメリットを求めて入会されたかは人それぞれ違いますが、ロータリーのことを理解し、目標をもって例会に出席する、委員会事業に携わることが、ロータリーに長くいることに繋がると思います。

一般的に奉仕＝ボランティアと言われますが、ロータリーは奉仕＝サービス、ロータリーの定義に「ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体です。」とあります、要は自分の職業を通じて、社会にサービスをすることだと思う。超我の奉仕をもう一度勉強して頂ければロータリーの中身がわかってくる。要するにロータリーはボランティア団体ではないことを理解して頂きたい。クラブ奉仕統括委員会は、会員増強と退会防止を地区で考えて、それを各クラブに持ち帰り、例会の充実をはかることを目指しています。



前田眞澄 地区社会奉仕委員会委員

本年度、国際ロータリー第2740地区社会奉仕委員会に出向させて頂きました。皆様ご周知とは存じますが、委員長は当クラブの坂井智照君であります。

委員会メンバーは坂井委員長を筆頭に武雄 RC の久保康俊君・松浦 RC の小田浩君・佐世保東 RC の鶴崎耕一君・大村 RC の帯屋徹君そして私を入れた6名の少数精鋭委員会でした。2013年5月12日開催されました「2013～2014年度地区協議会」を皮切りに先般開催されました地区大会をもって実質的に無事一年間を過ごすことが出来ましたのも、坂井委員長をはじめ、ホームクラブのメンバーの皆様のお支えがあったからと感謝申し上げます。

本年度の地区社会奉仕委員会の活動方針は RI テーマ「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」をベースとしながらも日本のロータリークラブですので、やはり3年前に起こりました東日本大震災の事を避けての活動方針という訳にはいかないものでした。地区協議会での社会奉仕部会の研修会ではテーマを「復興とロータリアン」と題し、それぞれの単クラブの社会奉仕委員長さんに中央クラブがホストクラブとして行いました IM で視聴していただいた東日本大震災の生々しいテレビ中継の DVD に新たにドキュメント番組の一部である、その後の被災者の心の問題、精神的に残っている震災の爪痕、そしてそういった人達が震災直後は考える余裕も無かったのがいったん現実を受け入れ落ち着きを取り戻してきた頃からそういった不安感であったり、心の病から身体的に障害を起こしている人が増えてきている現状とそのケアについての DVD を見て頂きました。震

方々にも大きな爪痕を残しており、復興とは単なる道路の整備やインフラの整備だけではなく心の復興をも含めて行っていかなければならないことを皆様にお伝えしました。

以上の事から本年度の地区社会奉仕委員会の活動指針として、ロータリーにおいての社会奉仕活動を通して地域の住む人々の生活を高め、公共のために奉仕する中でロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用する事を奨励、育成し、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会を持つことでみんなに豊かな人生を生み出していくことを一つの柱とし、もう一つの柱として「震災復興」を真剣に考え、継続性のある事業と共に、今という時代に沿ったロータリアンらしい社会奉仕を行っていくことの二つの柱を軸とした活動指針を掲げ、それに伴い次の4つの具体的活動内容を揚げました。

1. 各クラブにおいて活動方針に沿った奉仕活動計画・実施を行う。
2. 東日本大震災に関する支援活動への取り組み・
3. 各クラブが2013－2014年度社会奉仕委員会の予定奉仕事業について意見交換を行う。
4. 交通安全・献血協力活動推進への取り組み。

以上の４項目を掲げました。

この4つの具体的活動の事例検証と各クラブへの紹介の場として、二つ目の大きな事業といたしまして2013年11月17日に開催いたしました「2013－2014年度社会奉仕セミナー」があります。佐世保労働福祉センターに第2740地区各クラブより延べ参加人数96名のご参加を頂きました。当クラブからも山瀧正久副会長と本田実次年度幹事にご出席を頂きました。ちょうどその日は当クラブの社会奉仕事業と重なっており、そちらが終わった後、南部社会奉仕委員長と野村幹事が後から駆けつけてくれました。色々とトラブルが発生はしましたが、非常に有意義なセミナーで有ったのではなかったかと思っております。

内容としましては、事前に第1グループから第10グループまでの57クラブにあらかじめアンケートを実施しその集計内容を本セミナーの資料として配布し、地区委員会でその中からぜひ皆様に紹介したい事例として前年度実施した事業8事業、本年度実施予定8事業を選ばさせて頂き、それぞれのクラブ代表者に発表を行っていただきました。また、本年度より国際ロータリーの提唱する「未来の夢計画」の新補助金制度実施初年度でもあり国際ロータリーの考え方、システム、申請の仕方、申請事業承認の考え方等の卓話を山田地区財団委員長よりわかりやすく話をしていただき、活字で見るよりはニュアンス的に少し理解していただけたのではないかと思っております。

活動内容の1である「各クラブにおいて活動方針に沿った奉仕活動計画・実施を行う」についてはこの資料を見れば第2740地区57クラブの社会奉仕活動すべてがわかるようになっています。また、二項目目の「東日本大震災に関する支援活動への取り組み方」もこの資料を見ればわかります。継続性についても前年度実施事業と本年度実施予定事業とが見れますので、継続性についても実証出来るのではないでしょうか。すべてのクラブが足並みをそろえて前述の4項目を実施できているかというとなかなかそうは行かないもので、クラブの立地環境や会員数、あるいはそういった事業を行うノウハウが確立できているか否かにより現実的にはバラバラですが、逆に言えるのはそういった立地や会員数で出来る範疇で地元に特化した社会奉仕事業は全てのクラブが何かしら行っているという事実は有言出来ると思います。これは本年度の活動指針の一つである「超我の奉仕を実証する機会を持つことでみんなに豊かな人生を」の「実証する機会」のベースはどのクラブも持ち合わせていると言えるのではないでしょうか。

今回、初めて地区への出向をさせて頂いたのですが、個人的には他クラブの社会奉仕事業への考え方や取り組み方、広域に渡って他クラブの方と話をさせて頂いたりと交流も深める事が出来、色々と勉強・スキルアップ出来た一年でした。ありがとうございました。

memo

SAA：馬場貴博君
次回例会／５月１日１２：３０～
次回献立／季節のお弁当